

令和 8 年度宇陀市一般会計当初予算要求について公表します

(令和 7 年 1 1 月 4 日)

宇陀市総務部財政課

令和 8 年度の各部署からの予算要求額は約 220.2 億円となり、令和 7 年度予算額と比較すると 2.6%、約 5.8 億円の減少となっています。

【予算要求額減少の要因について】

予算要求額が減少した主な要因として、物件費や補助費、人件費等は増加したものの、普通建設事業が大きく減少したことが挙げられます。

歳出要求総額から歳入要求総額を差し引いた財源不足額は約 52 億円となり、令和 7 年度の予算要求時と比較すると約 9.7 億円の減少となっています。

【今後の予算査定の予定】

令和 8 年度当初予算については、令和 7 年 11 月から令和 8 年 1 月までの間に数回の予算査定を実施します。査定では要求された歳入額を精査するとともに、歳出要求事業について改めて見直しを行い、適切な予算編成を進めていきます。

皆さまへの公表にあたり、今後も効率的で持続可能な財政運営に努め、地域の課題解決を図ってまいります。

令和8年度 予算要求総額の概要(一般会計)

単位:千円 %

	令和8年度 要求額	令和7年度 予算額	増減額	伸び率
歳出要求総額	22,019,151	22,598,950	▲ 579,799	▲ 2.6
内訳				
人件費	4,206,071	3,966,895	239,176	6.0
物件費	4,584,719	4,289,055	295,664	6.9
扶助費	2,921,700	2,853,658	68,042	2.4
補助費等	3,543,871	3,149,272	394,599	12.5
普通建設事業	2,034,813	3,892,680	▲ 1,857,867	▲ 47.7
災害復旧費	165,151	115,490	49,661	43.0
公債費	2,577,661	2,458,299	119,362	4.9
積立金	389,781	341,779	48,002	14.0
投資及び出資	0	0	0	0.0
貸付金	1,221	1,199	22	1.8
繰出金	1,564,163	1,500,623	63,540	4.2
予備費	30,000	30,000	0	0.0
歳入要求総額 ^(注1)	16,815,745	22,598,950	▲ 5,783,205	▲ 25.6
内訳				
市税	2,465,699	2,454,965	10,734	0.4
地方譲与税	246,356	239,576	6,780	2.8
各交付金	743,432	841,575	▲ 98,143	▲ 11.7
地方交付税	8,210,000	8,390,000	▲ 180,000	▲ 2.1
分担金及び負担金	192,839	74,205	118,634	159.9
使用料及び手数料	269,164	266,587	2,577	1.0
国庫支出金	2,213,480	3,665,320	▲ 1,451,840	▲ 39.6
県支出金	1,440,147	1,291,837	148,310	11.5
財産収入	84,957	67,066	17,891	26.7
寄付金	421,001	423,201	▲ 2,200	▲ 0.5
繰入金	170,188	1,692,025	▲ 1,521,837	▲ 89.9
繰越金	0	150,000	▲ 150,000	▲ 100.0
諸収入	358,482	400,693	▲ 42,211	▲ 10.5
市債	0	2,641,900	▲ 2,641,900	▲ 100.0

財源不足額	5,203,406
-------	-----------

注1) 令和8年度の歳入中、まちづくりや財源調整のための繰入金及び普通建設事業等に係る地方債は現時点では見込んでいません。